

沖縄支部・事業報告

支部長 比嘉淑貴 副支部長 仲村司


事業概要

2013年度は、2回の交流会と、1回のフォーラム、及びレクレーションを開催しました。
フォーラムに関しては前年に続き、約70名程の参加者があり、交流会にも多くの方に参加いただきました。
特に当事者による手術の体験談をお話する交流会では、Web上で多くの情報が氾濫するなか、当事者の生の声を聞ける貴重なチャンスでもある為、例年多くの方に参加いただいております。


年間催事日程報告

月日	内容	参加人数
2月24日	交流会	56
6月8日	フォーラム	64
7月14日	レクレーション	25
12月21日	交流会	18
合計		163

各催事詳細報告

日時	2013年2月24日（日） 14:00～17:00
形式	交流会
テーマ	性別適合手術の体験談 ～後悔しないために学ぼう～
会場	あやかりの杜 多目的ホール 沖縄県北中城村喜舎場1214番地
講演	FTM当事者2名、MTF当事者1名 山本和儀 山本クリニック院長
参加人数	会員56名
概要	<p>「性別適合手術～後悔しないために学ぼう～」をテーマとして MTF当事者(タイSRS)、2名のFTM(国内/タイSRS)当事者に スライドを使用しながら体験談を発表していただきました。 また、急遽飛び入りで、約3週間前に国内でSRS手術を受けられたFTM当事者の方にもご協力いただき、簡単に体験談を発表していただきました。 手術後間もないにもかかわらず、元気そうな姿を見て、安心される参加者の方も多かったのではないのでしょうか。 そして支部顧問でもある山本和儀先生(山本クリニック院長)の講演では、 普段なかなか見ることができないような貴重な写真も多く、内容の濃い会となったと思っております。</p>
	

日時	2013年6月8日（土） 13:00～16:40
形式	フォーラム
テーマ	性同一性障害と社会 ～よりよい社会生活を送るために～
会場	沖縄県総合福祉センター ゆいホール 沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目373-1
講演	三橋順子 性社会・文化史研究者 山本蘭 当代表 山本和儀 山本クリニック院長 EAP産業ストレス研究所所長
参加人数	64名
概要	<p>性別を越えて生きる人たち（トランスジェンダー）が社会で認められてきた文化の移り変わりについて、性社会・文化史研究者の三橋順子様にお話しいただきました。 gid.jp代表の山本蘭からは、当事者がおかれている現状と課題について。 そして、県内で性同一性障害の専門医として第一線で活躍されている山本和儀先生には、性同一性障害の基礎知識についてお話しいただきました。 当事者が、望みの性でよりよい社会生活を送るためには、どのような問題や課題があり、どのような支援を必要としているのか問題提起を呼びかけるフォーラムとなりました。</p>
	

日時	2013年7月14日（日） 12:00～19:00
形式	レクリエーション
テーマ	ビーチパーティ交流会
会場	恩納海浜公園 ナビービーチ 沖縄県国頭郡恩納村字恩納419-4
参加人数	会員25名
概要	<p>沖縄支部の夏の恒例行事。 ビーチでのBBQやレクリエーションを実施しました。 前年も参加して下さった10代の若者から50代の当事者とパートナーが集まり、シュノーケリング、スイカ割り、ノニドリンクの罰ゲーム付豆つかみゲーム等で楽しい夏の思い出となりました。</p>
	

日時	2013年12月21日（土） 14:00～16:50
形式	交流会
テーマ	～カミングアウトする前に～
会場	沖縄県総合福祉センター 503研修室 沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目373-1
参加人数	会員18名
概要	<p>性同一性障害は社会で少しずつ認知されてきてはいますが、偏見や不当な扱いを受けることも依然として存在します。</p> <p>カミングアウトをすることで職場を退職へと追いやられたり、家族との関係が崩壊してしまうなどの悲しいケースもあります。</p> <p>家族、職場、友人、パートナーとその家族…</p> <p>多くの当事者が悩む「カミングアウト」について、少人数グループに分かれて各々の体験談を話していただきました。</p> <p>MTF当事者、FTM当事者、パートナー、当事者のご家族にもご参加いただいたことで、親御さんの気持ちをお聞きすることもでき、大変良い機会となりました。</p>